

活動報告（10月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村計画課

表題：白檀の棚田で稲刈りが行われました

日時：令和7年10月26日（日）

場所：静岡県浜松市浜名区引佐町



【 稲刈りの様子 】

10月26日（日）、浜松市浜名区引佐町にある白檀^{しらかし}の棚田で稲刈りが行われました。

竜ヶ岩洞から車で5分程度の白檀の棚田は、令和4年に「つなぐ棚田遺産」に選定されています。

当日は、白檀棚田会、「一社一村しずおか運動」の協定を結んでいる（株）フジヤマ、県立農林環境専門職大学の学生、白檀棚田会の声掛けで集まった一般の方々、約30人が参加し、協力して稲刈りを行いました。

今年は棚田全体の約3分の2がイノシシによる被害を受け、収穫量が激減する事態となってしまいましたが、白檀棚田会は「来年度はイノシシ対策を一層強固にして頑張る」と決意を新たにし、稲刈り参加者へ中山間地域ならではの現状を説明していました。

県立農林環境専門職大学の学生は、「地域盛り上げ隊」というサークルを設立しており、本県の「農村次世代関係人口創出事業」を活用して、白檀の棚田で保全活動を行っています。

学生は稲刈り後、“はざかけ”まで白檀棚田会と協力して行い、今後の脱穀等のスケジュールを再確認していました。

西部農林事務所では、今後も棚田の保全活動を支援していきます。